

- 挨拶 -

< 広島県知事 >

- ・委員の皆様には、中国地方各地から広島に足を運んで頂き、ありがとうございます。
- ・昨年8月に開催されました「第1回本会議」以降、利用者ニーズの把握や部会における精力的なディスカッションにより、本日「中国地方の産業の国際競争力強化に向けた緊急提言(案)」がまとめられたところであり、関係者の皆様のご努力に対しまして深く敬意を表します。
- ・経済のグローバル化が進展する中、中国地方が国際競争力のある自立した経済圏として発展していくためには、戦略的に国際物流機能の強化を図っていく必要があります。このため、グローバルゲートウェイとしての拠点空港や拠点港湾の整備をはじめ、これらと各都市を結ぶ道路交通ネットワークの形成など、物流・交通基盤の整備を進めるとともに電子タグやICを活用した情報化への対応など、ハード・ソフト両面における物流の一層の効率化に向けた取組みが必要であると考えております。
- ・今回の提言が、今年度から本格化する国土形成計画の広域地方計画及び各県レベルの施策に具体的に反映されるよう、引き続き皆様と連携を強化して参る所存であります。
- ・最後に、今後の国際物流機能の強化による中国地方経済のますますの発展と皆様のご健勝を祈念して、ご挨拶といたします。

< 福田本部長 中国経済連合会会長 >

- ・中国を始めとする東アジア各国が、我が国産業の生産拠点、あるいは消費市場として、急成長しており、我が国企業のアジア進出もめざましいものがあります。
- ・このような状況下において、中国地方発着国際コンテナ貨物の、中国地方の港湾の利用率というのが1993年が10%、1998年が26%、5年後の2003年は53%と年々利用率は高まっています。
- ・ただし、全国平均は85%なのでこれを大きく下回っている。言い換えれば約4割強の企業が、輸送コストがかかるにもかかわらず、他の地域の港湾を利用しています。
- ・現在、中国地方の景気は鉄鋼、石油、化学などの基礎素材産業あるいは、自動車、造船などの加工組み立て産業を中心として堅調に推移している。この流れを持続させていくためにも、中国地方内の港湾機能の充実を図り、企業にとって利用しやすい物にしていくことが、国際競争力強化の観点からも、喫緊の課題であると認識している。
- ・提言(案)をとりまとめるに際して、部会長としてご尽力いただきました、戸田先生ほか、戦略チームのみなさまにはこの場をお借りして、厚くお礼を申し上げます。
- ・最後に、提言内容に対しみなさんの忌憚のないご意見を賜り、港湾機能の充実強化に反映していくことにより、中国地方の経済パワーがいっそう増していくことを祈念して、簡単ではあるがご挨拶とさせていただきます。